

～クラウド座学～

★クラウド技術とは

◆クラウドコンピューティングの略称です。

◆クライアントサービス型システムの一つです。

サーバ（遠くからサービスを提供する側）と、必要な時だけサービスを借りるクライアント側に分かれるシステムです。

◆規模の大小に関わらず、

費用対効果や、必要な技術者（サーバ管理）の削減につながるなので法人は進んで取り入れています。

◆GUI（グラフィカル・ユーザ・インターフェース）と

CUI（キャラクター・ユーザ・インターフェース）の両方を活用できます。

★オンプレとの違い

◆インフラでよく上がるワードとして、「オンプレ」と「クラウド」があります。
構築・運用・保守、どのパターンでも両方存在します。

オンプレ (昔ながら)

…基本的に物理サーバを自社内で設けて管理します。
データセンターや拠点を設けて、
自社のイントラネットで通信する企業場合は、こちらも使用します。

クラウド

…クライアントサービス型が基本。
なので、技術的には省略して仕組みを覚えるところも多い。
AWSのような、
特定のクラウド技術のやり方のみを覚えて仕事をしていくことになります。

★学ぶとどういったメリットがあるか？

◆物理的な機器（ハードウェア）を購入しなくて済むので、安い。

◆クライアントサービス型の通信なのでリスクが低い。

- 必要な時だけクライアント（自分）はサービスをもらうだけ。
- 管理やセキュリティのリスクがすべてアマゾン側。
- クラウドよりも性能が高いサーバが出てき時に、再びシステム移行するのが大変。

◆インフラの「バックグラウンド」の業務を極めたいなら、オンプレとクラウドは両方学んだほうが理解が早い。
(片方だけを使用する会社は、費用的にもセキュリティ的にもほとんどないから。)

◆どの分野のキャリアステップでも使える。(Webでもアプリでもこれ。)

IT企業の4分野

ソフトウェア

- アプリ
- AI
- Webデザイン

ハードウェア

- 自動車の組み立て
- プラント
- 組み込み系、ロボット

ネットワーク (インフラ)

- システム全般
- データ管理
- 24時間の管理系

情報処理 (IoTの活用)

- ヘルプデスク
- オペレータ
- 学校

★分野は多岐にわたるので、

◆クラウドをどう勉強するのかより、
なぜそこでクラウド技術を使っているのか、
自分の仕事やキャリアにはクラウドを勉強する必要があるかが大事です。

◆プログラミングも自動化も仮想技術も
自分がメンテナンスする側の仕事にしたいのか
それ以外にも触れられる仕事をしたいのかで、勉強するべき量が変わってきます。

※結局すべてを極めることはできないのと、一つに絞ってもアメリカやアジアのエンジニアには遠く及ばないです。

★構築の終わりに、

◆構築の案件は、多くが地味です。

(AWSも管理画面がGUIであるだけで、ほぼコマンドラインの操作。)

◆技術は、どんなものでもキャリア(将来的に)のために必要になります。

※「浅く、広く」や「目の前の業務のためだけ」とモチベーションが特に持ちません。

◆決めている人は

本やより専門的なスクールでどんどん磨きましょう。

◆決めていない人は、キャリアを決定してから時間と費用コストを使いましょう。